

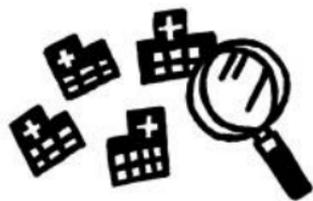
一般的に、価格が上がるほど、商品の価値も高くなりま  
す。しかし、日本の医療制度  
では、個人の支払額が高い医  
療行為には疑問を持つ必要が  
あります。わが国が誇る国民  
皆保険制度では、科学的に有  
効性が示されている医療行為  
は保険の適用となるからで  
す。

「最善・最良の治療」を意  
味する「標準治療」は基本的  
には健康保険が利きますか  
ら、保険の対象外の自由診療  
に手を出す必要はまずありま  
せん。

しかし、ほとんどの免疫細  
胞療法など、効果が不明のが  
ん治療を自由診療の形で行う  
施設も多く、問題です。では、  
あやしい医療の「宣伝行為」

## がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

# 医療広告、断定や曖昧さ要注意

現も要注意です。体験談や治  
療前後の画像を単に並べたも  
のは信用しない方がいいでし  
ょう。

保険が利かない自由診療の  
場合、とくに費用や副作用に  
ついて確認しなくてはなりま  
せん。無料説明会、無料相談  
といった表現にも注意が必要  
です。

国もこうした問題を重視し

を見破るコツを伝授いたしま  
しょう。

まず、ネット検索で上位に

あっても、「広告」のマーク

がついたものは注意しましよ

う。「100%完治」「末期

がん治療」などの曖昧な表

からの生還」など、断定的な  
表現や誇張された表現は信用  
しないようにしましょう。

次に「体に優しい」「セレブ

が使っている」「あきらめな

いがん治療」などの曖昧な表

現も要注意です。体験談や治

禁止されました。「100%  
完治」などの虚偽広告、「日  
本有数の実績を誇る」といっ  
た比較優良広告、「効果が高  
く、おすすめ」などの誇大廣  
告も基本的に許されません。

これまで医療機関のホーム  
ページも現在は、法令による  
規制の対象となっており、違  
反に対しては行政処分や刑事  
罰等の厳しい制裁が設けられ  
ています。

それでも資料の郵送に誘導  
するなど、巧妙なやり方で規  
制をかいくぐろうとする医療  
機関もあるようです。

がん治療は一種の情報戦。

私たち、一人一人が医療情報

に対するリテラシーを高めて

いくことが大切です。

(東京大学病院准教授)